

被扶養者・任意継続被保険者・特例退職被保険者の皆さんへ

平成31年度 健康診断のお知らせ

きんでん健保組合の加入者は、下記の3つの健診から選択することができます

※同一年度に複数の健康診断の補助を受けることはできません。

健保組合から
最大2万円
の補助

家族健康診断

希望する医療機関で受診する

対象者 30歳以上の被扶養者・任意継続被保険者・特例退職被保険者

受診方法 健保組合より配付される「問診票・家族健康診断補助金請求書」を希望する医療機関に持参して受診

受診期間 平成31年4月～平成32（2020）年3月31日まで（年1回限り）

補助内容 健診費用のうち2万円まで補助（超過分は自己負担）



健保組合から
最大2万円
の補助

巡回型健診

（委託先：京都工場保健会）

全国の健診会場一覧から選択して受診する

対象者 30歳以上の被扶養者・任意継続被保険者・特例退職被保険者

受診方法 健保組合より6月頃に配付される「健康診断受診ガイド」から会場を選択。郵送またはインターネットから申し込み

受診期間 平成31（2019）年7月から（年1回限り）
※地区によって終了日は異なります。詳細は案内をご確認ください。

補助内容 健診費用のうち2万円まで補助（超過分は自己負担）



健保組合から
最大3万円
の補助

人間ドック

希望する医療機関で受診する

対象者 35歳以上の被保険者・被扶養者

受診方法 希望する医療機関に予約後、事業所または健保組合まで、「人間ドック利用申込書」を提出

受診期間 平成31年4月から平成32（2020）年3月31日まで（年1回限り）

補助内容 健診費用のうち3万円まで補助（超過分は自己負担）



どうして健診を受けるの？

みなさん、毎年健診を受けていますか？ 健診は何のために受けるのでしょうか？

理由 1 病気を予防するため

健診結果に“アブナイな”と思われる数値や「要再検査」などの項目はありませんか？ 健診を受けることは、病気になるのを未然に防ぐことにつながります。

また、毎年検査を受けることで、経年変化に気づきやすくなります。

理由 2 病気を早期発見・早期治療するため

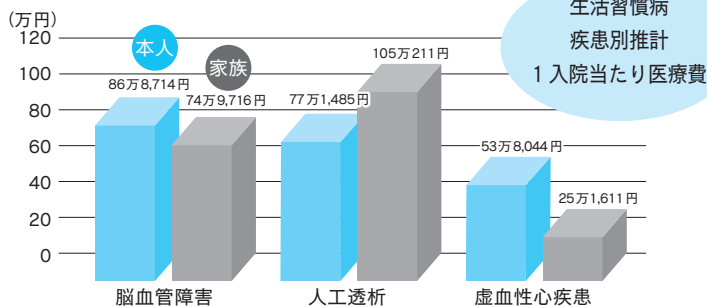
自覚症状が出る前に病気を早期発見し、早期治療することができます。治療期間も短くなり、身体的にも負担が少なくなります。

理由 3 医療費の節約につなげるため

健診で見つけた病気を早期に治療すれば、医療費も少なくて済みます。

家計にやさしいことに加え、健保組合の支出も抑えられて、健保組合も助かります。

※自己負担は基本的に右記の3割となります。
※高額療養費により自己負担が軽減される場合があります。
※人工透析については、自己負担が1カ月1万円（所得によっては2万円）となる制度があります。



(健康保険組合連合会「平成28年度生活習慣病医療費の動向に関する調査分析」より)

みなさんの健康を守るために健保組合が行っている事業

● 特定健診・特定保健指導

特定健診とは、40歳～74歳の人がかかる、メタボリックシンドロームの予防や早期発見のための健診です。

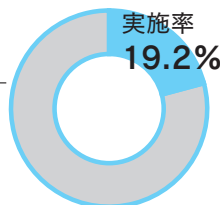
特定健診でリスクが高かった人は、特定保健指導を受け、保健師や管理栄養士などのプロからアドバイスを受けながら生活習慣改善に取り組んでいただきます。

参考 特定保健指導の実施率

特定保健指導の実施率は、健保組合全体で2割にも及びません。生活習慣を改善するためのプロのアドバイスを、無料で受けられるチャンスです。案内が届いた方は、ぜひ受けてください。

● 特定保健指導の実施率
(健保組合全体)

(厚生労働省「2016年度 特定健康診査・特定保健指導の実施状況について」より)



健保組合から
全額
補助

郵送によるがん検診を実施しています

検査キットをポストに投函するだけ。郵送による無料のがん自己検診をご活用ください

申込方法 健保組合より6月頃に配付される「申込書」に必要事項を記載し担当課に提出

補助内容 無料（全額健保組合負担）

▼ 肺がん検診（喀痰細胞診）

対象者 30歳以上の被保険者・被扶養者

▼ 子宮頸がん検診（細胞診）

対象者 20歳以上の被保険者・被扶養者

▼ 大腸がん検診（便潜血検査）

対象者 30歳以上の被保険者・被扶養者

▼ 前立腺がん検診（血液検査）

対象者 50歳以上の被保険者・被扶養者

検査機関 ● メスブ細胞検査研究所 <http://www.msp-kyoto.co.jp/>